

平成 28 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

知識基盤社会の到来やグローバル化の進展の中、生涯にわたり学習する基盤を培い、個性を生かしながら主体的に課題を解決出来る人間の育成をめざす。

- 1 急速に変化する社会に対応できる確かな学力を育成し、思考力・判断力・表現力を高める機会を与えることで、個性を伸ばす教育の充実を図る。
- 2 自ら将来の夢と志を描き、自己の可能性を伸ばすとともに、自らの力で進路を実現し、地域や社会に貢献できる人間の育成をめざす。
- 3 生徒が安全で安心して高校生活を送れるよう、それぞれの思いや環境・状況の違いを理解し、自他の生命や権利を大切にすることを意識の醸成に努める。

2 中期的目標

下記の1～3の目標達成を図ることにより、学校満足度90%以上をめざす。

1 確かな学力の育成と思考力・判断力・表現力を高める機会の充実

- (1) 確かな学力育成のため、「授業アンケート」等を活用して、指導と評価を一体化した学習指導、授業力向上のための取組みを組織的に行う。
⇒ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握したうえで、指導と評価の一体化した学習指導に努める。
⇒学校教育自己診断結果や授業アンケート結果の分析、授業振り返りシートの活用などにより、全教員が授業力向上にむけた取組みを行う。
⇒「授業力向上委員会（仮称）」により、指導と評価を一体化した学習指導や授業力向上のための取組みの情報共有・研究・発信を行う。

- (2) 生涯にわたり学習し続け、それぞれの個性をさらに伸ばすことができるよう、資格取得を奨励し、また、読書活動を推進する。
⇒進展する国際化や情報化に対応する基礎的素養を身につけさせるため実用英語技能検定試験やTOEFL・TOEIC、情報検定等の勧奨・実施を行う。
⇒「第3次大阪府子ども読書活動推進計画」を踏まえ、読書環境の充実を図る。

2 夢と志を描き、自らの力で実現できる生徒の育成、社会の形成に主体的に参加し、社会人として自立・貢献できる人間の育成

- (1) “本物”や“最先端”に触れさせることにより、知識基盤社会・グローバル社会において、自分の将来の可能性について考えさせる。
⇒府教育委員会や関係機関の取組みを活用し、エリア活動等において、自分の個性を生かした将来の進路を考えさせる。
⇒各自の進路希望の実現に向け、キャリア学習や進学講習に積極的に取り組ませる体制を充実させる。（3年後、希望進路実現率90%をめざす）
- (2) 積極性や協調性、責任感を高めるため、HRや委員会・生徒会、学校行事や部活動等などへの参加を一層奨励し、生徒の自主的活動を充実させる。
⇒自主的・積極的に社会に参加する意識を醸成するため、自主的活動の意味や意義を生徒に考えさせ、自主的活動への参加を奨励する。
- (3) 進路実現をめざし、社会で自立・貢献できる人間となるよう、学校組織全体として取り組む。
⇒基本的な生活習慣やルール・マナー指導について、社会に通用する習慣・意識を持たせるため、学年、進路指導部、生徒指導部が一体となり取り組む
⇒規律ある授業環境について、学年、教科、教務部、生徒指導部の連携により、学習保障の観点も踏まえながら、一体となり取り組む

3 安全で安心な学校づくりと自他を大切にすることを意識の醸成

- (1) 地域のニーズを踏まえ、地域の文化や環境・安全に貢献する活動などに取り組む。
⇒地域の文化的・芸術的行事や環境美化行事などに積極的に参加し、高校生として可能な貢献に努めさせる。
⇒関係機関等とも連携した交通ルール・マナー指導を推進し、交通事故の未然防止に努める。
⇒地震や洪水に係る防災教育を推進するとともに、災害発生時における磯島校区コミュニティー協議会との一層の連携を図る。
- (2) 人権教育により自他を大切にすることを意識を醸成するとともに、生徒一人ひとりの状況に適切に対応した指導を行う。
⇒これまで行ってきた人権教育を踏まえて、インターネットや携帯電話などの新たな状況にも対応した高校3年間を通じた人権教育を推進する。
⇒いじめやセクハラなどについて、生徒アンケートや「高校生活支援カード」等により生徒の意識・実態を把握し、適切な指導・対応を行う。
- (3) 特別支援教育については、高等学校支援教育力充実事業のサポート校として、就労に向けたノウハウの提供や具体的な支援方策を助言していく。
⇒自立支援コースを含む特別支援教育体制及びこれまでの事例に基づき、地域のサポート校としての取組みを充実させる。
⇒特別支援教育の取組みや成果を基に、教育活動の様々な場面において「共に学び共に育つ」教育活動を推進する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成28年12月実施分]	学校協議会からの意見
<p>〔生徒〕75%以上の肯定率項目は、「学校生活は充実」(87)、「この学校に来てよかった」(82)、「各教科から必要な課題や宿題が与えられている」(81)、「生徒たちの関係はとてよい」(79)、「進路実現に関する指導は適切」(78)、「行事やHRには皆が楽しく参加」(75)、「他の学校にない特色がある」(75)、「授業以外でも学習機会を提供」(75)など。肯定率が6割以下の低い項目は「授業以外の学習時間は1日1時間以上」(31)、「部活動には積極的に参加」(49)、「学校の施設・設備は充実」(58)など。大きく上昇したのは「学校生活についての先生の指導は納得」(+4.5p)、「工夫されている授業が多い」(+3.7p)など。下降したのは「総合の学習は充実している」(-2.2p)、「進路実現に関する指導は適切」(-2.1p)など。やはり生徒は楽しく学校生活を送っている反面、学習習慣や部活動参加に依然として課題がある。また指導側として進路指導の充実が課題である。</p> <p>〔保護者〕85%以上の肯定率項目は「保護者が授業や行事を参観できる機会を設けている」(94)、「家庭では生徒とよく会話をする」(91)、「保護者に対する事務室の対応は親切、丁寧」(90)、「教育情報についての公開・提供の努力をしている」(88)、「生徒は学校へ行くのを楽しみにしている」(86)、「特色ある教育活動に取り組んでいる」(86)など。肯定率が5割以下の低い項目は「生徒たちは家庭学習に十分な時間を使っている」(38)。大きく上昇したのは「校内の清掃は行き届いている」(+5.9p)、「生徒たちは部活動や行事などの課外活動に積極的」(+4.8p)、「生徒たちは学校へ行くのを楽しみにしている」(+4.0p)など。下降したのは「授業は楽しくてわかりやすいようだ」(-4.6p)、「学校は進路実現の取組をしっかりやっている」(-4.5p)など。保護者はおおむね学校の取組に信頼を寄せているようだが、こちらでも進路指導の充実が課題である。また校内清掃のポイントが上がったのは、昨年度指摘があり重点的に取り組んだためである。</p>	<p>〔第1回〕7月11日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普総選アンケートで生徒の考える力や表現する力が伸びたとのことだが、どういう取り組みがあったから成果が上がったのか、しっかり検証してほしい。 ・小学校から見て、学校周辺でのあいさつやゴミ拾い、自転車マナーの向上など日ごろの取組みの良さがみられるので、継続してほしい <p>〔第2回〕11月14日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高の教員の相互交流で成果が出ている。 ・授業の様子を見て…授業を受ける態度で気になる点がある。先生がしっかりと注意してほしい。 ・アクティブラーニングについて研修しているようだが、まだまだ一方的な感じの授業が多かったように思う。 ・美術関係では多彩な作品が校内に展示されている。美術関係の進路はどうなっているか。 ・服装、身だしなみについてはすごく改善されてきている。今後は個性を伸ばしどこで発揮するか、そういった場所を作る取組みをすすめてほしい。 ・自立支援コース生徒の頑張っている姿見た。就職指導に力を入れてほしい。自立支援コース生徒を含め、今の高校生の課題は就職後の人間関係をなかなかうまく作れないことと感じる。SOSを出せるように、また受け止める仕組みを作ることが大事。 <p>〔第3回〕3月7日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断で保護者アンケートは重要だが回収率が低い。更なる回収努力を ・大学の立場から、もっと高大連携ができればと思う。英語検定ももっと進めてほしい。 ・将来への不安解消の一つとして、先輩に来てもらって話を聞く機会をつくったらどうか。 ・EMS実践校として、「持続可能な社会づくり」の実践をすすめてほしい。 ・これだけ地域行事に参加する高校に初めてであった。今後も推進を。 ・就職後の離転職の課題は不登校の課題ともつながる。今後、定着率について追跡してほしい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成と思考力・判断力・表現力を高める機会の充実	<p>ア 確かな学力の育成のための教員の授業力の向上</p> <p>イ 生涯にわたり学習する基盤の確立</p>	<p>ア 授業力向上に向け、ユニバーサルデザインなどについて情報を共有し活用するため、地元小・中学校や先進校視察、公開授業・研究授業及び研修に「授業力向上委員会(仮称)」を中心に組織的に取り組む。</p> <p>イ 生徒が自分で考える力、物事を調べる力、専門的な知識、物事を自分で理解する力、自分を表現できる力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション力をつけ、さらに向上させるため、アクティブラーニングによる授業やルーブリック評価等を取り入れた「指導と評価の一体化」に取り組む。</p> <p>ウ 生徒の学習到達度や資格取得状況等について、入学時をはじめ定点的測定により把握し、学力等の伸長度合を生徒にもフィードバックするとともに、適切な宿題や課題を与え、自学自習を奨励・指導する。また、各種検定試験の受験・資格取得を奨励・支援するとともに、読書環境の充実を図る。</p>	<p>ア 研究授業、公開授業の実施回数(H27 33回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「㊦いろいろと工夫されている授業が多い」5ポイント増(H27 66.5) ・「㊦楽しくてわかりやすい授業が多い」5ポイント増(H27 59.6) <p>イ 「㊦専門的な知識・自分で考える力・自分を表現する力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション力・物事に対する理解力・物事を調べる力」のそれぞれ5ポイント増</p> <p>ウ 「㊦授業以外での学習時間は1日平均1時間以上である」5ポイント増(H27 29.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「㊦学校は授業以外でも学習する機会(講習会・検定など)を提供している」5ポイント増(H27 75.2) ・資格取得者数 240人以上(H27 213人) 	<p>ア 研究授業、公開授業は6月、11月に従来通り実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業の工夫」は70.3(3.8p増)、「楽しくてわかりやすい授業」は61.6(2.0p増)と一定の成果が確認できる。(○) <p>イ 左記すべての項目で「よくあてはまる」と回答した生徒割合は微増したが、全体としては「あまりあてはまらない」とする割合も増加。生徒二極化が見て取れる。生徒主体、生徒参加型授業への工夫が必要。(△)</p> <p>ウ 「授業以外の学習時間」は31.1(1.8p増)、「授業以外の学習機会」は75.0(0.2p減)。 実用英語技能検定の受験者数は80→96名(20%増)英検全体の合格者数も昨年度比0.06p若干増加。(△)</p>
2 夢と志を描き、自らの力で実現できる生徒の育成、社会の形成に主体的に参加し、社会人・職業人として自立・貢献できる人間の育成	<p>ア 基本的な生活習慣・マナーの確立と社会の形成への主体的な参加</p> <p>イ 進路実現に向けた本物・最先端に触れる活動の充実</p> <p>ウ 大学等進学希望者等に対する進路実現の取組みの早期化・具体化</p>	<p>ア 遅刻や頭髪・服装、携帯電話使用、通学、授業規律におけるモラル・マナーの一層の向上をめざすとともに、学校行事・HR活動・部活動等に積極的に参加すること等により社会の形成に主体的に参加する意識を醸成する。</p> <p>イ 生徒が、自分の個性を生かした進路を実現するため、キャリア教育にかかる「LC」「LHR」やエリア活動、「卒業生に聞く」「TRYOUT」等の進路実現に向けた活動、併せて、自由選択科目やエリア活動などを活用し、大学や専門学校、企業等との連携・協力により、“本物”を体験し、“最先端”に触れる教育活動や芸術鑑賞など特別活動をさらに充実する。</p> <p>ウ 各学年当初から進路希望別指導や進学講習等を積極的に行い、各生徒の実態や期待できる学力伸長度を勘案して、一つ上をめざす進路志望を奨励しつつ、生徒の進路希望の実現を支援する。</p>	<p>ア 「㊦学校生活についての先生の指導は納得できる」5ポイント増(H27 64.8)</p> <p>「部活動に積極的に参加している」5ポイント増(H27 48.2)</p> <p>イ 大学等との連携活動の実施回数の増加(H27 16回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「㊦総合的な学習の時間の学習は充実している」5ポイント増(H27 74.2) ・「㊦エリアの学習は自分の興味・関心を満足させた」5ポイント増(H27 80.5) <p>ウ 進路希望実現率UP(3年時当初進路希望と卒業時進路実績の比較)85ポイント以上(H27,1,大学 83.0)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「㊦進路実現に関する指導は適切に行われている」5ポイント増(H27 79.6) 	<p>ア 「先生の指導は納得できる」69.3(4.5p増)と生徒の理解を得ており、「部活に積極的」は48.5(0.3p増)とほぼ横ばい。政治的教養を育む教育として府議会の出前授業(2年)を実施。選挙管理委員会の協力による授業を実施。(◎)</p> <p>イ 目標に挙げた諸活動はすべて実施。「総合的な学習時間の充実」は72.0(2.2p減)で、「エリア学習の興味関心」は昨年同様に高い評価77.0(3.5p減)である。引き続き進路実現支援のためにキャリア教育やエリア活動等に力を入れる。(○)</p> <p>ウ 進路希望実現率は86.1%(+3.1p)。「進路実現に関する指導」は77.5(2.1p減)。高い学習意欲を維持させつつ、進路に応じた個別指導をさらに充実させる。(○)</p>
3 安全で安心、そして自他を大切にする意識の醸成	<p>ア 地域との連携の強化と校内環境の整備</p> <p>イ 自他を大切にする意識の醸成</p> <p>ウ 特別支援教育の充実</p>	<p>ア 地域活動との連携のさらなる充実、特に防災備蓄や防災避難訓練における地域コミュニティー協議会等との連携を充実する。また、環境に対する意識“気づき”を高め、校内美化の推進、安全点検等を踏まえた校内環境の整備に取り組む。</p> <p>イ SNS等の新たなツールにも対応した人権教育を実施するとともに、アンケート等により把握したいじめなどの事象などには迅速かつ的確な対応を行う。</p> <p>ウ 自立支援コースの教育体制を充実するとともに、「共に学び共に育つ」教育活動をさらに推進する。また支援教育サポート校としての取組を一層充実させる。</p>	<p>ア 地域活動参加回数の増加(H27 16回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域等と連携した防災避難訓練の実施と継続に向けた体制整備 ・「㊦学校の施設・設備は充実している」5ポイント増(H27 58.4) <p>イ 「㊦学校では命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い」5ポイント増(H27 66.0)</p> <p>ウ 「㊦この学校の生徒たちの関係はとてもよい」5ポイント増(H27 78.5)</p>	<p>ア 地域活動参加回数は22回(H27 16回)(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯島校区コミュニティ協議会と連携した防災避難訓練(11/13)、熊本地震復興支援チャリティバザー(6/26)への参加協力等、積極的に活動。(○) ・「施設・設備の充実」は58.4(±0)。今後も校内環境の整備に取り組む。 <p>イ 「命の大切さや社会のルール」は67.6(1.6p増)。1年生で携帯電話教室開催(○)。</p> <p>ウ 支援教育サポート校として私学の相談にも対応。「生徒たちの関係」は78.5(±0)。次年度も人権教育の推進と支援教育に関する内外の取り組みさらに充実させる。(○)</p>